

ネイティブポーキンエラスターゼ

Cat. No. NATE-0211

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 膵臓エラスターゼは、膵臓の腺房細胞で生成されるエラスターゼの一種で、最初は不活性なゼイモゲンとして生成され、後に十二指腸でトリプシンによって活性化されます。エラスターゼはセリンプロテアーゼのサブファミリーを形成し、アミドやエステルを加水分解する活性部位で収束する2つのペータパレルドメインからなる独特の構造が特徴です。エラスチンは、臓器を結びつける結合組織の一種です。膵臓エラスターゼ1はセリンエンドペプチダーゼであり、活性部位にアミノ酸セリンを持つ特定のタイプのプロテアーゼです。

別名 EC 3.4.21.36、膵臓ペプチダーゼ E; 膵臓エラスターゼ I; エラスターゼ; エラスイム; セリンエラスターゼ; エラスターゼ-1; 膵臓ペプチダーゼ; ELA1

製品情報

種	豚の
由来	豚膵臓
形態	タイプI、白色粉末; タイプII、タイプIII、凍結乾燥粉末、炭酸ナトリウムを含む。
EC番号	EC 3.4.21.36
CAS登録番号	39445-21-1
活性	タイプI、> 15ユニット/mg; タイプII、> 4.0ユニット/mgタンパク質; タイプIII、> 1ユニット/mgタンパク質（ビウレット）。
緩衝液	H2O: 可溶性 ; H2O: 可溶性
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 8.0の条件下で、1.0 μ moleのN-スキシニル-L-アラ-アラ-アラ-p-ニトロアニリドを1分あたり加水分解します。

使用法とパッケージング

包装 タンパク質含有量に基づくパッケージサイズ

保管・発送情報

保存方法 -20°C